

2025 年 1 月 6 日

2025 年 社長年頭挨拶要旨(社員向け)

社 長 漆畑 憲一

新年を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。まずは、昨年の方々の貢献に感謝いたします。2025 年は、中期経営計画 2025（以下、25M という）の最終年度にあたります。皆さんと一緒に取り組むことで、25M の達成に向けて弾みある年といたしたく、本年の方針をお伝えいたします。

はじめに、昨年も世界各地で多くの災害が発生しました。昨年 1 月に発生した能登半島地震、6 月のメキシコ・テピックにおける暴風雨や 9 月のベトナムにおける台風 13 号による被害は甚大でしたが、関係者の多大な尽力により事業への影響を最小限に抑えることができました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻や中東地域における地政学リスクは未だに収束する見通しは立っておらず、今後も予断を許しません。金利の高止まりや不安定な市況に加え、昨年 11 月に行われた米国大統領選挙の結果が今後の世界経済に与える影響は大きく、その動向を注視しなければなりません。

また、世界の自動車市場に目を向けますと、電気自動車販売台数の成長は鈍化傾向にあり、欧米各国の脱炭素政策や欧米系 OEM の EV 化計画の転換が迫られました。一方で、中国では新エネルギー車の販売台数が 1,000 万台を超えました。その影響により、中国における日系 OEM の著しい販売不振が続いています。また、昨年から続いた日系 OEM の認証不正による販売停止は 2024 年度上期まで続きました。

モビリティ業界は 100 年に一度の変革期に差し掛かっていることは昨年の年頭挨拶でもお伝えいたしました。その様な変革期だからこそ、OEM トップ幹部との面会の際や、グローバル各拠点が存在する政府関係者との懇談の場を通じて、ハーネストップシェア企業である当社へ寄せる期待の大きさを実感しています。私たちは、その期待を超える可能性の実現に向けてグループグローバルに一体となって取り組んでいきたいと思っております。

また、2025 年にはグローバル各拠点において複数の立ち上げを予定しており、関連部門が連携を深めることで情報共有や変化点の先手管理を徹底して行い、何としても安定した立ち上げを実現していかなければなりません。

そのために、次の 3 つを皆さんにお伝えいたします。

- ・ **経営理念・SWS WAY を元にグループグローバルに一体となる**
- ・ **チャレンジを積み重ね、変化に強くなる**
- ・ **より健康で安全に働くことができる会社をめざして**

(1) 経営理念・SWS WAY を元にグループグローバルに一体となる

ご存知の通り、昨年 1 月には経営理念を新たに制定し社内外に公表しました。その中でも当社グループの存在価値を示すパーパス「ハーネス技術を深化させ、モビリティ社会のなくてはならないパートナーであり続ける」をグループグローバル共通の軸として、同じ方向へ向かい、一体となって取り組んでいきましょう。

その過程において「SWS WAY」を行動原則として、全ての皆さんが共感し日常業務の中で実践することを通じて伝播していくことが重要であることは言うまでもありません。

(2) チャレンジを積み重ね、変化に強くなる

今日の当社の強みである「ものづくり力」の源泉は現場（事務所部門を含む）における改善の積み重ねであると考えています。皆さんにおいては J 活や改善提案などの活動に積極的に取り組んでいただいていることにあらためて感謝します。

今後も、継続した改善への取り組みをお願いします。昨今は RPA や生成 AI などのデータ・デジタルツールがより身近なものとなっています。新しい技術やツールを習得して現場の中で DX を推進するなど、時代の変化に合わせたチャレンジを積み重ねることで、さらに変化に強い現場をつくりあげていきましょう。

(3) より健康で安全に働くことができる会社をめざして

当社は「健康は全ての企業活動の根底」「安全は全てに優先する」を基本方針として掲げています。全ての社員の皆さんが生き生きと働き続けるためには心と体の健康が欠かせません。「会社が従業員の健康を作る」という考えに立ち、会社として必要な支援を強化いたします。

また、安全においては本年度災害レベルⅡが既に昨年度発生件数を超えています。特に、非生産エリアでの躓きによる転倒災害が多く発生しています。決められたルールを皆が守り、安全文化を醸成いたしましょう。

以上 3 点をお伝えしました。25M を達成するためにはグループグローバルに全ての社員一人ひとりの力が必要です。

本年も皆さんと一緒に明るく元気に業務を進めて参りましょう。そして、皆さんとご家族が健やかに、素晴らしい年をすごされますことを祈念し、年頭の挨拶いたします。

以上